

第3回浦和野田線の整備に関する意見交換会

【日 時】令和6年2月13日（火）14:00～15:00

【場 所】荻島地区センター多目的ホール

【参加者】北越谷一丁目自治会、北越谷二丁目東自治会、北越谷三丁目自治会、北越谷四丁目自治会、南荻島出津自治会、堤根自治会、さしきだ自治会、文教大学、元荒川の自然を守る会、越谷市道路建設課・道路総務課・学務課、埼玉県総合治水事務所・越谷県土整備事務所（計19名）

【傍聴者】なし

【議 事】

- ・オープンハウス型説明会の開催結果について
- ・ご意見等を踏まえた今後の検討方針について
- ・今後のスケジュールについて
- ・意見交換

※詳細内容は説明資料をご覧ください。

【主な意見交換の概要】（○：構成員、➤：事務局）

- オープンハウス説明会で寄せられた意見はどれをとっても非常に良い意見である。それに対して県は検討しますといった内容が多かったが、検討ではなく、一つでも多くこれらの意見を取り入れられるようにしてもらいたい。
- 本路線については、ルートの変更をさせていただいた経緯があることや地域への影響が非常に大きいことは重々承知しているため、地域の方々から意見を吸い上げさせていただき、地域の方々にとってより良い道路となるように引き続き意見交換をさせていただきながら進めさせていただく。検討した内容については、適宜、この意見交換会や地域の方々全員を対象とした説明会等も開催させていただきながら進めさせていただく。
- 荻島に大きな産業団地ができると聞いた。それが出来ると大型車が多く通行すると思われる。大型車規制をするといった記載があったがそれは出来ないのではないか。大型車が多く通行することによる振動が心配である。振動に十分に配慮して道路を造ってほしい。
- 大型車規制については、浦和野田線本線では実施する考えはなく、地区内の生活道路に対してそういった規制を検討していくといったものである。振動については、用地買収が済んだ後に地質の調査をさせていただいた上で、舗装の厚さ等を決定することで、交通量や大型車に応じた道路を造っていく。
- 資料にも記載があったが、南荻島住民は、出津橋を通過して北越谷地区へ行って買い物等をするなど、出津橋の導線は生活をするうえで非常に重要なものである。出津橋につい

ては、様々な意見があり、検討するという内容であったが、是非よく検討してもらいたい。一つの案として、出津橋の部分を公園のようにしたいという意見があったが、この場所は桜並木もあって北越谷ではシンボリックな場所であることから、その意見に賛成である。橋の位置をもう少し文教大側（下流側）にすることで渡った先に信号機を付けられればいいのではないか。信号機については、高齢者の横断を十分に考慮した青時間としてほしい。もともと出津橋からまっすぐ行くために歩道橋に賛成であったが景観を損ねる可能性があることから、こういった考えになった。

- 出津橋部分の横断施設等については、今後、設計委託し、様々な案を検討させていただく。検討した案をお示しさせていただく際は、3Dモデル等を用いて分かりやすいように工夫する。
- 先日行われた越谷流山線の説明会で、既存の信号機を取り払うという話があったというが、見通しが悪く危ないため、是非、信号は残してもらいたい。
- 越谷流山線の信号については、説明会でもたくさんの意見をいただいた。我々としても生活に与える影響が非常に大きいと認識したため、信号機の設置の可能性について、継続して警察と協議を行っていく。
- 越谷流山線の信号について、信号機間隔が150m以内だと付けられないということだが、北越谷駅の反対側には短い間隔でも信号機が設置されている。こういった実例もあるので是非前向きに考えてもらいたい。西中の生徒はこの信号を利用している。今の利用状況をよく調査し、今より不便になることや危険が増すことがないようにしてもらいたい。
- 地域の方々から多くの意見をいただいたということも含めて、警察と改めて協議させていただく。
- 出津橋部分の横断について、設計委託をして検討していくとのことだが、原案を作る段階で一番現地を利用する人々、例えば荻島の自治会や文教大学、元荒川の自然を守る会等の意見を取り入れて検討していった方が良いのではないか。以前の意見交換会資料では分科会（部会）のようなものも設置していくとあった。県で粗々の案をまとめてからではなく、検討前に分科会を開催し、その内容を踏まえ、それが法的に実現可能なのかといった検討をしていくといった順番で進めていくのが良いのではないか。利用する方々の意見をよく取り入れてほしい。
- 出津橋の検討にあたって、部会のようなものを実施するという点については、持ち帰って検討させていただく。
- 3Dモデルといった表現があったが、それは3D動画とは違うのか。
- 立体模型を作ってもらいたいといった意見をいただいたが、模型は、各種検討結果をそのたびに反映させるのが困難である。3Dモデルは画面上で模型を見るようなイメージである。これを用いて説明をしていきたいと考えている。
- 完成予定は10年後を目標としているとのことだが、工事が始まってから完成までど

のくらいかかるのか。具体的な工事時期が決まってからで構わないが、工事期間中の大学生などの歩行者導線がどのようになるのか非常に気になるため、教えてもらいたい。

- 明確ではないが、工事にかかる期間は、早くても5、6年程度である。橋の工事に一番時間がかかり、元荒川に渡河する橋梁だけで5、6年程度はかかってしまうと想定される。出津橋も同様かと思われる。今時点でいつ工事に着工するとは言えないが、着工時期が見えてきた段階で具体的な議論をさせていただく。
- 出津橋の関係で文教大学の前にもう1橋架けるという案があるが、今話のあった工事期間中の導線として、先にこの橋を架けておけば工事期間中の導線は確保できるのではないかと。このような工事期間中といった細かい内容等も含めて地域の意見を検討に反映してもらいたい。
- オープンハウス説明会の開催結果について、ホームページに掲載されたが、高齢者等は知ることが出来ない。説明会を開催することについては、各戸配布等で広く周知しておきながらその結果については、ホームページを見なければわからない。結果についてもどうにかして広く周知する術はないのか。
- 各段階において、住民にとって重要性が高い情報については、説明会などを用いて、地域に広く周知させていただく。その結果については、全員に周知する術は困難な部分もあるのでホームページに公開させていただく形としたい。周知の方法については引き続き検討していく。